

令和7年度 東京都立町田の丘学園 学校経営報告

令和7年度の学校経営計画達成状況について以下のとおり報告する。

1 本年度の経営の重点テーマ

- (1) 人権尊重の精神に基づく教育活動の推進
- (2) 児童・生徒の健康・安全を最優先にした教育活動の充実
- (3) タブレット端末、デジタル教材の一層の活用と情報発信及び管理の徹底
- (4) 働き方改革の一層の促進
- (5) 若手教員育成の組織的な取り組み
- (6) 体育館及びグラウンドの有効活用の推進

2 今年度の取組目標と具体的方策、数値目標及び結果

【標語】 A：達成（目標値以上） B：ほぼ達成（目標値の90%以上）
C：やや未達成（目標値の80%以上90%未満） D：未達成（目標値の80%以下）

(1) 人権を尊重した教育の徹底

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	人権と生活年齢に配慮した呼称及び丁寧な言葉遣いの徹底	満足度95%以上	A：満足度99.3%
②	体罰及び不適切な指導の根絶及び、いじめ防止の徹底	体罰0、いじめ0	A：体罰0、いじめ0
③	個人情報の適正な管理の徹底	個人情報事故0	A：個人情報紛失0
④	道徳教育の視点を明確に位置付けた指導の推進	重大事故0	A：重大事故0
⑤	ハラスメント防止	ハラスメント0	A：ハラスメント0
⑥	人権に関する定期的な研修の実施	3回/年	A：年間3回実施

(2) 教育課程と学習指導（自立活動を含む）の充実

①	各教科指導及び各教科等を合わせた指導（英語の学習含む）の充実	満足度95%以上	A：満足度96.3%
②	個に即した個別指導計画作成（自立活動流れ図含む）と指導の充実	満足度95%以上	A：満足度98.1%
③	個に応じた教材・教具の工夫に向けた研修会実施	1回/年	A：1回以上実施
④	各教科等でのタブレット端末活用を通じた授業の推進	5回/学期	A：学期5回以上活用89.3%
⑤	高等部作業学習等を通じた地域と連携した教育活動の一層の推進	両部門3回/年	A：3回実施
⑥	教科学習等におけるA・B部門の交流及び共同学習の実施（高等部）	3回/年	A：作業学習で3回実施

(3) 進路指導の充実

①	進路指導の充実及び全生徒の進路希望の実現	進路実現100%	A：100%
②	キャリア教育に関する保護者満足度の向上	満足度95%以上	B：満足度92.6%
③	A・B部門（中学部・高等部）におけるインターンシップ等の充実	希望者全員実施	A：希望者全員実施
④	自己肯定感及び自己有用感を高める社会貢献活動の実施	全校で30回/年	A：34回

⑤	キャリア教育学習会、進路講演会等実施と情報提供の充実	4回以上/年	A：5回実施
⑥	町田市、関係機関、企業との連携の強化（各種連絡会の開催）	3回程度/年	A：5回実施

(4) 生活指導の充実

①	いじめの未然防止・早期発見・早期対応の徹底と計画的な研修実施	3回以上/年	A：研修3回実施
②	人権や発達段階等に即した指導、共感的で見通しのもてる指導実施	満足度95%以上	A：満足度99.4%
③	校内の環境整備と教室の整理整頓のための環境整備日の設定	1回/月	A：月1回実施
④	スクールバスの安全運行を含んだ研修会・説明会等の実施	4回/年、事故0	A：4回実施、事故0
⑤	運行会社との連携によるSB及び専用車両の安全管理と安全運行	事故0	A：事故0
⑥	教育活動全体を通じた挨拶及び返事に関する指導の推進	全教職員で実施	B：一層の推進を図る

(5) 特別活動・その他

①	高等部での主権者・消費者・環境教育の充実（社会、理科、家庭等）	各3時間程度/年	A：各4回実施
②	毎月のテーマ掲示による読書活動の推進	1回/月	A：月1回実施
③	部活動の大会・発表会等への参加と安全に留意した活動徹底	部活動事故0	A：事故0件
④	特別活動を通じた社会性や豊かな人間性を育む指導と安全指導の実施	重大事故0	A：重大事故0
⑤	高等部HRでの「SOSの出し方に関する指導」の実施	1回/学期	A：各学期1回実施
⑥	児童・生徒一人一人に応じた係活動、役割分担等の位置付け	一人一役以上	A：一人一役を位置付け

(6) 安全・安心、健康・体力づくり

①	保護者・地域と連携した防災・防犯対策及び訓練の実施	各1回/年	A：各1回実施
②	教育活動全体を通じた健康・体力づくりの推進	満足度95%	A：満足度97.4%
③	教育環境整備と安全管理の徹底	満足度95%	A：満足度98.4%
④	アレルギー対応訓練、AED講習・救命救急訓練等実施	各1回以上/年	A：1回以上実施、事故0
⑤	医療的ケアに関する事故の未然防止と緊急時の対応力向上	研修2回、事故0	A：2回以上実施、重大事故0
⑥	ヒヤリハット事例の積極的な蓄積と共有を通じた事故未然防止の徹底	事故0	B：一層の事故防止を図る

(7) 広報、地域交流、地域支援等

①	関係機関と連携した体育館及びグラウンドの地域開放推進	月平均4回程度	C：関係部署との調整が完了
②	野津田高校との協働的な取組の推進と充実	5回以上	B：委員会を5回開催し、次年度計画を作成
③	町田市立小・中学校との交流推進	3回以上/年	A：3回実施

④	特別支援教育に関するセンター的機能の発揮	専任コーディネーター活用	A：コーディネータを増員し、継続発揮を図る
⑤	高等学校における発達障害教育支援のための訪問等の実施	担当校1回以上/年	A：担当5校全校実施
⑥	HPの内容充実とタブレット端末活用の積極的な情報発信	各学部等お便り 学期1回以上発信	B：満足度89.2%

(8) 学校運営・組織体制

①	サービス事故防止研修、職員会議等によるサービス規律の徹底	事故0	A：事故0
②	業務の平準化及びメンタルヘルス研修の実施	時間外在校時間月平均4.5時間未満、研修会1回実施	C：月当たり45h以上12% A：校医により実施
③	初任教職員へのメンター導入を通じた育成環境整備	初任者満足度90%以上	B：初任者の個性によるところが大きい
④	若手教員育成の組織的な取組みの推進	月1回	A：各1回実施
⑤	教員系職員と行政系職員との連携を通じた円滑な学校運営	主幹・主任で対応 事故0	A：適切な対応実施
⑥	適切な予算編成及び計画的な予算執行の徹底（一需センター契約）	センター契約60%	C：52.8%

3 本年度のまとめと令和8年度に向けた方針

(1) 本年度のまとめ

ア 全体

学校評価アンケートを2回実施し、課題に迅速に対応しようとしたことで、保護者回答（以下「学校評価（保護者）」と記す）回収率が昨年度89%から91%に向上した。

イ 人権を尊重した教育の徹底

人権に関する学校評価（保護者）の肯定的な評価の割合は、99.3%であった。昨年度は、93.5%であり、児童・生徒の呼称や声のトーンについて改善を図った点が、評価された。

ウ 教育課程と学習指導（自立活動を含む）

学習指導に関しては、学校評価（保護者）において肯定的な評価の割合は、96.2%であった。昨年度は、94.5%であり、高い評価を得ている。

ICT機器を活用した学習に関する評価に関しては、肯定的な評価が89.3%であった。昨年は81.2%で上昇しているが、ICT機器の学習における利活用を引き続き促進するとともに、活用状況などについての情報発信を一層図ることが課題である。

エ 進路指導

進路指導・キャリア教育に関しては、学校評価（保護者）において肯定的な評価の割合は、92.6%であった。昨年度は、91.2%であり上昇しているが、学校全体で一層の推進に努める。社会貢献活動は、数値目標を4回上回り、町田の地域を活用した取組をより一層充実し、児童・生徒の自己肯定感や自己有用感の向上と社会貢献意識の醸成を高めていく。

オ 生活指導

生活指導に関しては、学校評価において「子供たちは、期待通りの楽しい学校生活を送れていますか」の質問に対して、肯定的評価が97.0%であった。喜ばしい成果である。

「生活指導、環境整備、防災、安全対策等への取組は十分に行われていますか」の質問に対しては、肯定的評価が98.4%であった。引き続き、防災については、いつ・どこで発生するか分からないという高い危機意識をもって取り組む。

カ 特別活動・その他

「子供一人一人の学習課題に応じた指導が行われていますか」の質問に対して、肯定的評価が98.1%であった。「わかった、できた、頑張った」などの達成感や自己肯定感が向上する教育

活動を通し、楽しい学校生活を送れるようにする。

キ 安全・安心、健康づくり

安全・安心、健康づくりに関しては、学校評価において肯定的評価が97.4%であった。

なお、アレルギー対応や保健面での重大事故は0件であった。引き続き、アレルギー対応や医療的ケアの安全・安心な実施について保健給食部に加え、医療的ケア部を組織して取り組んでいく。

ク 広報、地域交流、地域支援等

広報、地域交流、地域支援等に関しては、学校評価において「学校は、保護者や地域に対して、必要な情報を発信できていますか」の質問に対し、肯定的評価が97.1%であった。HPの更新回数は減ったが、他の情報発信方法が定着してきた結果であると考えられる。

また、野津田高等学校との協働的な取組の充実に本年度から行っており、この情報発信の充実も図っていく。

ケ 学校運営・組織体制

学校運営・組織体制に関しては、「保護者と教員とのコミュニケーションは十分に取れていますか」という質問に対し、肯定的評価が94.5%に微減した。PTAとの連携を一層深めるとともに、各学年担任会により組織的なコミュニケーションの促進を図っていく。

また、分掌部の業務整理と進行管理を行い、ライフ・ワークバランスを進めることにより、教職員の心身の健康を守ることで教育活動の維持・向上に努める。

(2) 令和8年度の方針

令和7年度を取組を継続するとともに、以下の点を重点として、学校経営及び教育活動等の改善・充実を図っていく。

ア 町田の丘学園の施設・設備と周辺地域の環境を十分に活用した教育課程と授業づくりの充実

- ・町田の丘キャリア教育の再構築

イ 児童・生徒の健康・安全を最優先にした教育活動の充実

ウ タブレット端末、デジタル教材の一層の活用と情報発信及び管理の徹底

エ 働き方改革の一層の促進

オ 若手教員育成の組織的な取組

カ 人権尊重の精神に基づく教育活動の推進